

令和6年度 自己点検・自己評価・学校間評価

※評価指標 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

I 教育理念・目標

評価項目	評価
1. 理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特徴が明確になっているか)	4
2. 学校における職業教育の特色は何か	4
3. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4. 学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

II 学校運営

評価項目	評価
1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2. 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
3. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4. 人事・給与に関する制度は整備されているか	4
5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7. 教育活動等に関する情報公開が適正にされているか	4
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

III 教育活動

評価項目	評価
1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2. 教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4

5. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12. 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13. 関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
15. 教員の研究活動を保障(時間的・財政的・環境的)しているか	4
16. 教員の研究活動を助言・検討する体制を整えているか	4

IV 学修成果

評価項目	評価
1. 就職率の向上が図られているか	4
2. 資格取得率の向上が図られているか	4
3. 退学率の低減が図られているか	4
4. 卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか	4
5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3

V 学生支援

評価項目	評価
1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2. 学生相談に関する体制は整備されているか	4
3. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4

4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6. 学生の生活環境の支援は行われているか	4
7. 保護者と適切に連携しているか	4
8. 卒業生への支援体制はあるか	4
9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10. 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3

VI 教育環境

評価項目	評価
1. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3. 防災に対する体制は整備されているか	4

VII 学生の受け入れ募集

評価項目	評価
1. 学生募集活動は、適正に行われているか	4
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3. 学納金は妥当なものとなっているか	4

VIII 財務

評価項目	評価
1. 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	3
2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3. 財政について会計監査が適正に行われているか	4
4. 財務情報公開の体制整備はできているか	4

IX 法令等の遵守

評価項目	評価
1. 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4. 自己評価結果を公開しているか	4
5. 学生や保護者が自由に意見を言える体制が整備されているか	4

X 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

XI 国際交流

項目	評価
1. 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	2
2. 留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	2
3. 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	2
4. 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

1. 高い倫理観と豊かな人間性の醸成

1) 学生のコミュニケーション能力向上を目指した関わり

- ・専門分野の講義では、学生同士の思考を伝え合い学習するよう、グループワーク・シミュレーションを取り入れた教育を行った。
- ・臨地実習では、担当患者とのコミュニケーションがはかれるよう、教員・指導者が介入しながら関係性構築を図った。また、実習指導者はじめコメディカルとの関わりを通し、看護師として報告・連絡・相談をおこなうことがチームのコミュニケーションに繋がると学んでいた。
- ・課外活動では縦割りのチーム編成でゲームやイベントに参加したり、係活動を行ったりすることにより、積極的にコミュニケーションを図る機会となった。
- ・日常から教員は学生とのコミュニケーションを積極的にはかり、学生が声をかけやすい環境づくりに努めた。しかし、学生からは声のかけにくい教員がいるという評価もあった。

2) 倫理的視点を重視した教育的関わり

- ・1年次より倫理学や看護学概論を通し、倫理観の醸成を行っているが、実習が始まる2～3年生になると、一部の学生は個人情報漏洩についての意識が薄れていく傾向がある。個別に指導を続ける必要がある。

3) 学生の協働する力の強化

- ・2～3年生は実習グループにおいて、円滑に実習を行うために日々協働していた。
- ・2年生は、宣誓式や学生フォーラム、実習を通し、仲間と協働し達成する力が強化された。
- ・1年生は基礎看護技術の修得に向けチューター制を取り入れグループ内での協働学習を主体的に行っていた。

2. 看護実践能力を育成するための教育力の向上

1) 研究授業実施率 100%

- ・今年度は教員全員が研究授業を実施した。各教員が検討したい点を明確にして授業を実施し、授業後には検討会を行った。

2) 教員能力開発プログラムによるラダーレベル全員取得

- ・国立病院機構の教員の教員能力開発プログラムにより、各教員の経験年数、能力に応じたラダーレベル取得を目指している。

3. 教育体制の充実

1) カリキュラム評価全体平均 3.5 以上

- ・令和6年度卒業生のカリキュラム評価は平均 3.4 であり、目標値には到達しなかった。

2) 臨地実習指導要綱の作成

- ・実習指導要綱の作成はできなかった。
- ・新カリキュラムでの実習開始にあたり、疑問点を共有する時間をつくり、教員による指導の齟齬が無いように努めた。

3) 教員間のチームワークの促進

- ・令和6年度は8名中4名の教員が入れ替わり、新人教員も2名迎えた。教員室内では、全員が意識的にわからないことが聞きやすい雰囲気づくりを心掛け、各学年よく話し合いながら運営を行っていた。また、各自が自己の業務遂行のために計画的に行動していた。

4. 健全な学校運営

1) 応募者数前年比増

- ・令和7年度入学生の応募者数は昨年度より大幅に増加した。推薦入学試験の基準の見直し、入学試験内容の見直しの成果である。

2) 入学者充足率 100%

- ・現在のところ令和7年度入学生の応募状況は47名であり、充足率は118%である。

3) 国家試験合格率 100%

- ・令和6年度卒業生の結果は3月24日に発表される。

4) 卒業率前年比増

- ・令和6年度卒業生の卒業率は92.9%であり、前年度90.2%より上昇した。

5) NHO 就職率 80%以上、県内就職率 90%以上

- ・NHO 就職率 95%、県内就職率 95%以上が達成できた。入学前から本校が NHO 及び地域（埼玉県）に貢献する看護師の育成を目指している点を PR している成果と考える。